

IV. 広報部会報告（部会長 松本 浩二）

1. 広報誌の発刊

今期は 6,200 部発行予定しています。
県内各市役所・役場・公民館などに配布予定です。

考察

年間の活動が紙面で確認できるので、団体の紹介用としても活用しています。

2. 水環境ふれあい活動応援事業

- ①県内の河川流域で普及啓発のため水辺環境調査の実施
- ②令和 6 年度の水辺環境調査結果マップの作成（PDF 版）
- ③水辺環境調査のパネル展の実施

多くの県民の方々が水辺環境について共通の知識を持ち、ふれあう機会や関心を高めるために、水辺環境調査パネル展を開催し、水辺環境調査パネルと水辺調査結果マップ、調査に参加した学校の水辺調査の様子や感想などを展示しました。

◆子どもたちを対象とした水環境保全に関する啓発イベントの実施

【オープニングイベント】

開催日時：令和 7 年度 2 月 24 日（月） 場 所：イオンモール宮崎 1 階ヒナタコート
午前中にみやざき犬による体験ブースの紹介、午後より啓発イベント（五感による水辺調査の体験）

◆水辺環境調査パネル展示

- ア) 高岡地区農村環境改善センター
期 間：令和 6 年 7 月 2 日（火）～7 月 26 日（金）
場 所：高岡地区農村環境改善センター図書館
- イ) 宮崎県防災庁舎
期 間：令和 6 年 9 月 2 日（月）～9 月 16 日（火）
場 所：宮崎県防災庁舎 1 階エントランスホール
- ウ) 宮交シティ
期 間：令和 6 年 11 月 1 日（金）～11 月 14 日（木）
場 所：宮交シティ 3F アポロの泉手すり付近
- エ) イオンモール宮崎
期 間 令和 7 年 2 月 22 日（土）～2 月 28 日（金）
場 所：イオンモール宮崎 レストランコート
- オ) えびの市民図書館
期 間：令和 7 年 3 月 4 日（火）～3 月 18 日（火）
場 所：えびの市民図書館

④ ホームページ「ふるさとの水辺」の運営支援

水辺環境調査の情報発信 「ふるさとの水辺ホームページ」の更新。
現在、宮崎県の「みやざきの環境」ホームページ内にある「ふるさとの水辺ホームページ」の水質調査結果の令和 6 年度の追加・パネル展示の様子を掲載し更新しました。

考察

子どもたちが行った水辺調査の感想など、貴重な生の情報だと思っています。水質調査で県内の川の状況も調査でき、子どもたちの学習にもなり、そして結果を発表し完結できる、とても良い取り組みでやりがいのある事業だと思っています。

3. 水辺のテーブルイベント

国交省（99 条委託）より河川協力団体として、水辺のテーブルイベントを実施しました。

ア) ペットボトルロケットを飛ばそう

開催日 令和6年7月27日（土）

開催場所 天満橋下 せせらぎ水路付近

ペットボトルロケットを飛ばしました。

イ) ウナギをつかんでみよう

開催日：令和6年8月17日（土）

場 所：天満橋下 小川

参加者数：子ども30人と保護者

共催：宮崎内水面漁業協同組合

天満橋下の再生した小川で、

ウナギの放流とつかみ取り体験を行いました。



考察

作り方や発射台が良かったのか、ペットボトルロケットは例年になくとても良く飛びました。

人気のうなぎつかみは大盛況でした。

このようなイベントを通じて、少しでも川にくる子どもたちが増えてくれれば将来かわるような気がしています。

4. 宮崎の多自然川づくりの啓発活動

（公財）宮崎県建設技術推進機構 宮崎『ひと・まち・みらい』づくりに関する研究・活動等助成事業の助成事業

宮崎の多自然川づくりの啓発活動を開催しました。

自然豊かで生物多様性に富み、潤いをもたらす良い川を次世代に受け渡すことを目的として、宮崎市内の商業施設で多自然川づくりの啓発イベントを開催しました。

◆パネル展

実施期間：2024年12月6日（金）～8日（日） 会 場：宮交シティ2階 ガリバー広場

展示内容：大淀川天満橋周辺に生息する絶滅危惧種をパネルで紹介

素敵な川のカレンダーの絵（子どもから宮崎県の身近な川の素晴らしさ・大切さ・楽しさをテーマにした「私の自慢したい宮崎の素敵な川のカレンダーの絵」を募集して選定された12枚の絵）

また、今年度より大人の部門として「私の自慢したい宮崎の素敵な川のカレンダーの写真」も掲載しました。（一般から募集して選定された12枚の写真）

◆表彰式・啓発イベント

実施日：2024年12月7日（土） 会 場：宮交シティ2階 ガリバー広場

内 容：

- ・カレンダーの絵として選定された方々の表彰式
- ・ミニ講演会 杉尾代表「タコノアシと生物多様性について」
- ・大淀川を知ろう「大淀川クイズ」

を実施しました。

考察

今回も、大人への啓発活動として理事会で川の写真の選考を行いカレンダーを作成しました。

カレンダーは今年度までとし、来期は違う形で啓発活動を行います。



5.ホームページの活用

今年度もイベントの告知・報告にホームページを積極的に活用しました。
参加者の募集や、イベントの活動結果・結果報告などの告知を行っています。
昨年同様「宮崎県自然豊かな水辺の工法研究会」では、募集からレポート採点結果閲覧までを、すべてホームページで行っています。

＜2024年4月1日～2025年3月31日までのアクセス解析＞

・アクセス総数：90,288件 ・訪問人数（ユニーク）：7,514名

※1名あたり 4.58 ページ閲覧、平均滞在時間：2分08秒

◇参考昨年データ＜2023年4月1日～2024年3月31日までのアクセス解析＞

アクセス総数：10,601件 ・訪問人数（ユニーク）：5,882名 1名あたり 4.98 ページ 平均滞在時間：2分07秒

考察

年々ホームページの重要性が増してきています。データ見ると昨年より2000人ほど訪問者数が増えています。昨年度は、気象状況が不安定な日が多くホームページで確認される方が多かったのではないかと思います。また、水辺工法やイベントの参加募集などもGoogleフォームを活用しています。今後もさらに活用していきます。

4.その他

宮崎国道河川事務所の事業である「宮崎川づくり交流会」の中で、宮崎国道河川事務所ホームページに掲載してある住民団体紹介ページを制作して更新しました。

考察

今年度の事業もすべて、とても充実した事業でした。

来年度は変化もあると思いますが、継続することの大切さを伝えて続けていきたいと思っています。